

創立30周年
イベント



詳しくは
こちら

①新校舎完成見学

11月1日(金)午後2時～8時、2日(土)午前10時～午後8時

②校舎を彩る光の演出

ライトアップやプロジェクションマッピング、学生作品の上映などを行います。
11月1日(金)・2日(土)午後5時～8時

③IMMERSIVE CUBE LIVE

世界で活躍するアーティスト3組による、音楽と映像を楽しむライブです。
11月1日(金)午後6時～8時



④IMMERSIVE CUBE THEATER

映像と音楽に囲まれる没入体験型の展示です。
11月2日(土)午前10時～午後8時

⑤隈研吾 講演会&トークセッション

11月3日(祝)午後2時～4時 定200人(抽選)
10月15日(火)までに同大学ホームページで



同大学の客員教授を務める建築家・隈研吾さん
©J.C.Carbonne

⑥5 INTERNATIONAL POSTER DESIGNERS

5人の海外デザイナーの作品約70点を展示します。
10月8日(火)～11月29日(金)午前10時～午後5時(月曜日、10月26日(土)・27日(日)休館)

⑦学生企画 デザイン大運動会

学生作品の展示、ワークショップなどを行います。
11月2日(土)

地域と歩み、進化する

や学科の再編成などを行い、未来を見据えた人材育成も推進。使い手の隠れた本音から課題発見・解決を図る「デザイン思考」を身に付け、社会の変化に柔軟に対応できる力を育てています。
令和5年度には2学科を統合し、テクノロジーとデザインの学びを両輪で進める領域を加えた「デザイン学科」を新設。「美術・工芸学科」、「建築・環境デザイン学科」の3学科体制になりました。時代が求めるデザインの知識や考え方を幅広く学ぶことで、多様な社会で活躍する人材を育成します。



進化する学び

課題制作や個人作品の試作もできるプロトタイピングルームが従来の4倍の広さになり、最新のデジタル工作機器を導入。デジタルデザインのアトリエ、映像やオーディオの編集室などがまとまり、全学生が使用できる新たなものづくりの拠点が完成しました。

私が学ぶ「テクノロジー×デザイン領域」は、3DCGでアニメを作ったり、プログラミングをしたり、電子工作でおもちゃを作ったり。興味のあることに幅広く取り組める環境です。
新校舎は、広くなったプロトタイピングルームが楽しみです。レーザーカッターなど今まで使ったことのない機材にもチャレンジしたいですね。新しい設備を十分に活かして、周りのみんなと切磋琢磨しながら学びを深めたいです。



デザイン学科2年 竹内 陽莉さん

創立30周年 公立化10周年 長岡造形大学

図政策企画課 ☎39・2204、長岡造形大学 ☎21・3311



社会的変化に対応し、活躍する人材を育成
新たなカリキュラムの導入
このほか、「市民工房」や小学生向けの「こどもものづくり大学校」など、市民にも多様な学びの機会を提供しています。
開学当初から、積極的に地域や産業界と連携。授業を通じて実際に地域社会と関わり、デザインの力を活かした課題解決に取り組むことで、教育研究活動の成果を地域に還元しています。また、公立化に合わせて、企業やNPOなどと協働する一元的な窓口「地域協創センター」を設置。地域と大学の結びつきをさらに強めています。
長岡造形大学が、今年で創立30周年、公立化10周年を迎えました。全国から学生が集まり、現在は約8割が県外出身者。これまでに5、870人が卒業し、さまざまな分野で活躍しています。
デザインの力で地域課題の解決へ
開学当初から、積極的に地域や産業界と連携。授業を通じて実際に地域社会と関わり、デザインの力を活かした課題解決に取り組むことで、教育研究活動の成果を地域に還元しています。また、公立化に合わせて、企業やNPOなどと協働する一元的な窓口「地域協創センター」を設置。地域と大学の結びつきをさらに強めています。

地域と関わりながら建築を学びたいと思い、造形大を志望しました。授業の一環で取り組む竹あかりプロジェクトは、住民の方と連携しながら創り上げます。私も実際に三島地域の山に入り、住民のみなさんと一緒に竹の伐採をしました。切り方を教わったり、一緒に搬入したり、造形大だからこそできる体験です。



建築・環境デザイン学科2年 竹本 天馬さん

開催に向け、竹の性質を活かした大きなオブジェを作成中です！みんなで協力して作った作品を、ぜひたくさんの方に見てほしいです。

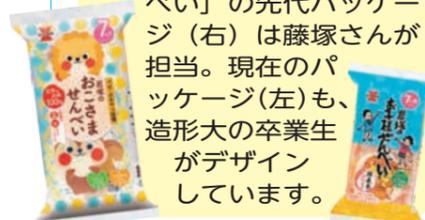


地域と共に

地域の里山から間伐した竹で制作した灯籠がずらりと並ぶ三島地域のイベント。地元ボランティアを中心に創り上げており、造形大生も空間演出の企画などを行っています。
★今年は10月26日(土)に開催！ [10ページへ](#)

卒業生も市内で活躍中

おなじみのあの商品も！



昭和41年発売のロングセラー商品「おこさませんべい」の先代パッケージ(右)は藤塚さんが担当。現在のパッケージ(左)も、造形大の卒業生がデザインしています。

現在は商品担当は持たず、課のメンバーと一緒にディスカッションを重ねながら商品開発に携わっています。私が持っているのは、これまで別々に販売していたものを、健康素材に注目してデザインやコンセプトを統一した商品。表現を変えたことで、以前より売り上げが伸びています。見せ方の違いで、お客さまの反応は全く違います。学生時代に学んだデザインや文字の表現方法、マーケティングなど、現在も仕事で役に立っていると感じます。今の学生たちも大学で身に付けたデザインの基礎を活かしながら、斬新な発想や積極性を力に、社会で活躍して行ってほしいです。



平成11年度卒業 岩塚製菓(株)商品企画二課 課長 藤塚 美奈子さん

※回・定などの略字の見方は14ページへ